

## 個別施設計画

### 施設ごとの方針及びマネジメント期等一覧

#### (2) 社会教育系施設



◆個別施設計画

(1) 施設概要

施設名称	星の動物園	所属課	教育課
大分類	社会教育系施設	中分類	博物館等
所在地	松ヶ峯180、99-13	総延床面積 (㎡)	1,085.93
設置目的・役割	豊かな自然の中で、児童・生徒・市民が都市住民との交流を深め、天文学の普及と学術研究及び文化発展に寄与し、創造性豊かな青少年の育成及び星の魅力を広く発信して行くため。		
根拠条例	紀美野町星の動物園条例		

(2) 施設を構成する主な建物及び更新等推計費用

建物名・棟名	延床面積 (㎡)	構造	建築年月日	建築後30年後 大規模改修費 (千円)	建築後60年後 建て替え費 (千円)
天文台 (星の塔)	278.81	鉄筋コンクリート	1995/3/31	69,703	111,524
総合案内所 (月の館)	233.52	木造	1995/3/31	58,380	93,408
みさと天文台/宿泊管理棟	65.00	鉄筋コンクリート	不明	16,250	26,000

(3) 施設老朽化判定 (主な建物のみ表示)

現地 (目視) 調査による建物老朽化判定					
屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	健全度
A	A	A	A	A	100

(4) 実施計画

	実施年度	主な工事業名称	工事業費 (千円)
施設に係る 主な工事業 (予定含む)	2009年度	星の塔自然観測デッキ整備工事	6,523
	2015年度	月の館空調設備工事	3,265
	2019年度	星の塔空調設置工事	684
	2019年度	月の館内装改修工事	1,650
	2020年度	星の動物園環境整備事業 (新築、改築、新設・改修工事)	404,279
管理上の課題	山頂付近に設けられている施設であり、通じる道路は幅員が狭く、急勾配で屈曲している。大型車両の通行ができないため、改良を進める必要がある。		
今後のあり方	県内唯一の天文施設であり、2020年度には建物の新築・改築・改修及び周辺整備を行い、施設全体のリニューアルを行う。リニューアルにより、天文学や宇宙に関する教育的要素の充実と星空を満喫できる観光的要素を併せることで町の拠点となり、集客数の増加を図る。		
方針	1	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。	マネジメント期 —

(5) 施設を構成する主な建物または劣化箇所

天文台 (星の塔)		総合案内所 (月の館)	
みさと天文台/宿泊管理棟		みさと天文台/宿泊施設 (おおぐま)	